

2015年度前期 DUO リーグ会議 議事録 (完全版)

日時 2015年2月22日 17時から21時 (日程調整会議までを含む)

場所：本郷高校

会議進行：岩野先生

文書作成：春日大樹

出席者：

【32クラブ(氏名)】

都小石川宗友	昭和一永井	三菱養和山本
京華小金丸	都向丘北洞	筑波大附中塚
学習院玉生	豊南小寺	本郷岩野
城西嶋野	豊島学院早川	郁文館井上
駒込学園宮坂	巣鴨山中	立教池袋橋本
獨協神宮司	淑徳巣鴨石原	都竹早松本
日大豊山海老根	都文京中村	都足立和田
都江北箕輪	足立学園伊藤	都荒川商智片
中大高加藤	都足立西栗山	都千早竹内
都足立新田小俣	貞静学園杉本	都淵江浅井
文中選井上(代理・郁文館)	FC西巣鴨03岸	都豊島丹羽

【オブザーバー：選手】

なし

【オブザーバー：一般】

花川(本郷)、藤巻(本郷)、白河(京華)、栗原(リゾスポ)、北爪(豊島学院)、小川(巣鴨)、

白洲(中大高)、折笠(昭和一)

目次：

- ・ 出席確認
- ・ 理事会より
 - ・ 新規参入クラブについて
 - ・ 2015 年度加盟費について
 - ・ DUO リーグ各担当・組織編成について
 - ・ 出場停止者の把握についての議論
 - ・ 各部門の担当について
 - ・ 事業の充実について
- ・ 2015 年度 DUO リーグについて
 - ・ 3 部制の移行案について
 - ・ 2015 年度の昇格降格のレギュレーションについての議論
 - ・ 2015 年度のリーグ組み合わせについて
 - ・ FC 西巣鴨 03 の扱いについて
 - ・ その他報告事項
- ・ DUO リーグについての確認事項
- ・ 質疑応答
 - ・ 2015 年度昇格降格のレギュレーションについての確認
 - ・ 交代に関する規定について
 - ・ リーグ戦の期間内消化について

・出席確認

(岩野先生)

DUO リーグ参加 33 クラブの代表、選手のオブザーバーなし、一般のオブザーバー7 名が参加していることを確認しました。また、配布書類の参加クラブに豊島高校が抜けており、32 クラブになっていたところを訂正しました。

事務局長の岸氏が不在のため、春日が代理で会議に参加し議事録を作成することを連絡しました。

・理事会より

(岩野先生)

配布書類の 2 から 5、その他の内容について 2 月 20 日の理事会で話し合いました。

・新規参入クラブについて

(岩野先生)

理事会前に新規参入を希望するクラブの代表に対して中塚前チェアマンより DUO リーグについての説明と理念の確認を行いました。新規参入の承認については、この DUO リーグ会議で皆様からの承諾を得て完了します。

○ 新規参入クラブより

足立新田高校

高体連の委員では多摩地区に参加することが多く、この地区に参加することは初めてです。この地区に来たということで、DUO リーグに参加したいと思いました。どうぞよろしくお願います。

貞静学園高校

私達のクラブは学校が女子高から共学になりました 4 年前に立ち上がりました。もともと女子校ということもあり、部員がそろわずなかなか試合を出来るという状況ではなかったのですが、諸先生方からこのリーグの話をいただきました。このリーグに参加することで、選手達に目標を持たせることが出来ればと思っております。よろしくお願います。

淵江高校

私は 2 地区の出身で選手として DUO リーグに参加していました。今年度より渡辺先生に代わって淵江高校で顧問を務めることになりました。昨年度までは部員の数もなかなかそろわなかったのですが、今年度から増え始め練習試合を行えるなど、チームとしての形が出来てきました。来年度から DUO リーグに参加してよりチームを強化できればと思っています。よろしくお願います。

(岩野先生)

改めまして、3 クラブの新規参入を承認していただける方、拍手にて意思表示をお願い致します。(会場

全体から拍手が起こり、承認)

- ・ 2015年度の加盟費について

(岩野先生)

来年度(2015年度)はDUOリーグ加盟費の徴収を見送ることを理事会で検討しています。つきまして来年度は、試験的に加盟費を徴収せず、リーグ参加費のみで1年間やってみようと思っております。DUOリーグに加盟費5,000円と参加費20,000円の違いについて再確認しますと、加盟費はこのDUOリーグという団体に1年間参加するために支払うお金であり、審判講習会、栄養講習会などのリーグ戦以外の事業を行う費用、また事務局費に充てられます。対して参加費は前期リーグ戦運営のみにかかる費用に充てられ、参加チームごとに支払うお金になります。

これに従うと、リーグ戦に参加するクラブは25,000円、本郷高校のように3チームを参加させる場合は65,000円を支払う事になります。このように加盟費と参加費を合わせて徴収し、住み分けがなされていない現状を踏まえまして来年度は参加費20,000円のみで運営を行っていかうという提案になります。

ここで問題になることは、DUOリーグに参加しないクラブは、参加費を払わないということになり、これらのクラブがリーグ戦以外のイベントや後期リーグの参加、また無料のプログラム5部の配布などを同じように認めていいかどうかということです。この問題に対し、今年度は試験的に加盟費の徴収を行わないということなので、各種イベントには参加をしてもらう形を取ろうと思っております。

ここまで話しました事はチェアマン案になります。反対意見も含めて意見のある方はおられますか。理事会では多くの意見をいただきましたので、出来れば理事以外の方から意見がいただければありがたいのですがいかかでしょうか。

(松本先生)

4地区では参加費として年間8,000円を支払っていましたが、しかし、資金が余っていても少し下げろという意見がありました。会場費、審判費に加えてホームページの運営費用などを賄っておりました。決算報告をみないとはっきりしたことは言えませんが、例えば本郷高校の60,000円は非常に高額だと感じます。そのため、集めたお金がどこにどのように使われているかは知りたいです。また、岩野先生のおっしゃられた加盟費を徴収しないことについては理由も含めて私は賛成です。

(岩野先生)

メーリングリストには流れていたかと思うのですが、決算報告案を今回の配布資料にも載せてあります。基本的には審判費、トロフィーにお金がかかっています。審判費として1試合2,000円(主審1,000円、副審500円)を事務局から支払っている計算になります。試合数をチーム数で割ると、1チームが3試合半ぐらいの審判費を負担しないといけないため、審判費だけで7,000円ほどはかかってきます。あとは事務局を外部に委託しているため、事務局費がかかっています。毎年、事務局の立ち位置はどうなのかという意見ありますが、事務局はDUOリーグ運営になくなくてはならない存在であるかと思っております。そのため、個人的には20,000円の参加費は妥当な額だと思っています。

実際の予算からみてみると、来年度加盟費を徴収しないとすると収入が 190,000 円ぐらい減ることになります。これが年間通じると赤字になってしまうかもしれないとも想定しています。更に各事業が増えた場合このマイナスが大きくなってしまい、結果として加盟費が必要になることも考えられます。これらの事を調べるために来年度は試験的に加盟費を徴収せずに行おうと思います。

特に反対意見がなければ、2015 年度はこの形でいこうと思います。加盟費の徴収に関しては来期のリーグの途中にアンケートを実施しようと思います。

(近田先生)

事業の見直しを提案していたかと思うのですが、事業内容をはっきりさせずにまずお金から進めていくのはどうか。一つ一つの事業にいくらかかるのか、もしくはかけずに行えるのが分からないといくらかかるかは計算できないのではないか。

(岩野先生)

加盟費の問題について提案した理由に、リーグ戦以外の事業の縮小、透明化ということもあります。サッカーしかやらないリーグにするつもりはないが、リーグ戦以外の事業について整理し、充実させていかないと加盟費をとることを納得してもらえません。リーグ戦以外のイベントが楽しく充実していれば、加盟費は必要であるという結論になるはずです。現在リーグ戦以外の活動が少なすぎる中、5,000 円の加盟費をとるということはどうなのかということがチェアマンの意見です。1 年から 2 年はかかるかと思いますが、DUO リーグをより組織化し、そののち加盟費をとる、もしくは参加費だけで賄っていけるということがみえてくれば加盟費なしで今後も運営していくという形をとると考えています。

(中塚先生)

経緯と考え方のところを補足します。加盟費を徴収しないことについて異論はありません。加盟費と参加費がそれぞれどういうものかという、参加費は事業に対して支払われるお金です。各事業は、参加者がその事業を成立するために負担した額の範囲で行うということが原則になります。しかし、その事業を年間通して維持していくためには、人や物が必要になってくる場合があります。その時の支出を参加者が少しずつ負担して賄う必要が出てきます。これを DUO リーグでは各クラブが加盟費として 5,000 円を納めるという形をとっていました。これらのお金がちょっといびつになっている理由は、参加費と加盟費の詳細を検討しないで来てしまっているため、もしかしたら参加費が高くなりすぎてしまっているとも考えられます。それぞれの適切な金額を導き出すことも、これから 1 年 2 年かけて考えていくテーマの一つだと思います。

これまで三菱養和はリーグ戦には参加しませんが、加盟費を払うことで DUO リーグのメンバーとして事業に参加し、また会議での発言や意思決定の権利を持っていましたが、来年度はその権利がなくなってしまう。しかし、権利がなくなっても三菱養和もメンバーであることには変わりはないということは確認した方がいいと思います。

(岩野先生)

配布資料にある理事会案の②にもあると思うのですが、今回は加盟費を徴収しないというだけであって、加盟をなくすわけではないです。加盟と参加については今まで通りです。DUO リーグに加盟したクラブがリーグ戦に参加します。加えて加盟手続きについて、配布資料の 6 ページにある DUO リーグの実施要綱を少し変えました。今までは 5,000 円の加盟費支払いによって加盟手続きが完了したところを、加盟表の提出によって手続き完了という形に変えました。つまり加盟表を提出していただければ、これまで通り DUO リーグ事業の情報も、会議の場で発言、意志決定する権利もこれまで通り与えられることとなります。理事会案は、今回加盟費 5,000 円をなくすという事だけの案になります。

・ DUO リーグ各担当・組織編成について

(岩野先生)

事業部・チェアマンを私が兼任いたします。組織編成についてはまだ皆さんに声掛けが来ていません。そのため、申し訳ありませんが 2014 年度の担当の方に 2015 年度の各部署の話をしていただく形にします。競技部は、このあと前期リーグのチーム分けの話がありますのでここでは取り上げません。

(審判部)

3 月 22 日に審判講習会を行います。JFA-ID を取得しないと申し込みホームページに入れません。各クラブの生徒で受講を希望する場合は、まず JFA-ID を取得し、ID のマイページ内から 2015 年度の審判資格取得というところへアクセスし、講習会の申し込みを行ってください。締め切りが 3 月 2 日までとなっています。こちらは新しく DUO の審判講習会というものを立ち上げていますのでそちらから申し込んでください。古い方にはアクセスできません。各生徒が自身で申請し、受講費を支払う。その際に領収書が出ますので各クラブからお金を出す場合はそれに対応してください。受講費は 4,500 円+税になります。

(技術部)

昨年度も 3 月末に技術練習会を行ったが、今年度も 3 月 22 日午後に豊島学院のグラウンドにて実施します。外部の講師を迎える予定ですが、まだ詳細は決まっています。決まりましたら、メーリングリストにて連絡いたします。

(管理部門)

配布資料 7 ページが決算報告になります。来年度は加盟費分がなくなりますので、どのようになるか、みていくことになります。

前期の参加費とプログラム代の領収書と審判費、施設使用費の払戻金を会議終了後お渡しします。(会議終了後、春日から配布。三菱養和には岩野先生から、巣鴨高校には中塚先生から後日配布。)

(広報部)

プログラムへの協力ありがとうございました。申し込む冊数が伸びなかったため、次年度に向けて何らかの対策を考えなければいけないと思っています。

(規律部)

累積警告、退場が出た場合について再度確認をします。退場が出た場合は、すぐに私まで連絡してください。配布資料 5 ページをみていただきますと、記録担当が累積警告の集約を行うことが手っ取り早いのですが、仕事量が増えすぎてしまう。そこで、各リーグの審判担当が集計をしていただければと思うのですが、いかかでしょうか。

(岩野先生)

配布資料の⑤に書かれているものです。前回の会議で白川先生から、記録担当が集計を行えばスムーズになるのではないかという意見が出ました。それぞれのリーグの記録担当は、勝ち点、審判、累積警告、得点者の集計をしており、仕事量としては多くなります。もともと警告を受けた選手は記録が拾っていたのですが、審判担当は警告者のみしっかり拾い上げておいてほしいです。DUO リーグは連日試合を行うことは許されていませんので、試合の結果報告は当日遅くとも翌日には共有できなければ、次節に出場停止の選手が出場してしまう恐れがある。今までは、各クラブで誰が出場停止であるか管理するという「紳士協定」のもと行っていました。しかし、1 クラブから複数のチームが出場したりしている時、自チームだけでは把握しきれない場合があります。その際に出場停止の選手を確認する手段がなく、結果として出場停止の選手が出場しているリーグが出てしまいます。そのため、お互いに監視するしくみをつくるため、今回の審判担当は結果が流れた場合、自リーグの警告者を確認、集計を行うようお願いします。そして、累積警告が 2 枚たまった時点で規律部に報告し、規律部からクラブへ報告する形をとります。退場についてはすぐ規律部にあげるという決まりはありましたが、警告は少しルーズなところがあったのでこのように決めました。

報告方法についても、メールの題名に日付と会場に加えてリーグ名も必ず記載するようにしてください。集計をスムーズに行うため、フォーマット通りに記載していただければと思います。また、試合結果の報告は滞ることなく当日ないし翌日に必ず行うよう協力よろしくお願ひします。

(企画部)

本郷高校にて小銭入れづくりを実施しました。3 クラブ 30 人の生徒が卒業生へのプレゼントとして、使わなくなったボールから小銭入れを作りました。

(岩野先生)

使わなくなったボールを磨いて切って付けるだけの簡単なものだと思っていましたら、革製品なので縫いつけたり、金槌でたたいたりとなかなか大変な作業でした。特に手先のあまり器用ではない子はかなり苦戦していましたが、リサイクルプロジェクトがなくとも、来年も卒業生に向けて作りたいと思うくらいに生徒達が楽しそうに取り組んでいました。

作成には専門的な道具が必要になりますが、参考までに作り方を書いた資料も配布致します。(会場には現物も展示)

- ・ 出場停止者の把握についての議論

(質問)

各リーグの審判担当が確実に累積警告を把握できるかは少し心配である。逐一確認しながら出来れば問題ないが、試合数やチーム数が多いのであまり現実的ではないかと思います。各会場に最新の警告者リストを作っておいてもらうとわざわざ規律部に報告する必要はないかと思います。メールだとリーグの数が多いのでスルーされてしまわないかと不安です。

(宮坂先生)

記録担当の先生で警告、退場を集計していて、累積警告を集計しきれていないことはないですか。(会場はしているとの反応)では、今までも記録が集計した最新版を会場が確認するというものです。

(質問)

2013年に集計の仕事をしていた際に、得点や勝敗については例えば2週間後に連絡が来ても対応は出来ます。しかし、警告と退場までは把握できなかった。実施するためには、リアルタイムでやらなければいけません。記録も審判もリアルタイムでやることは難しい場合があります。各監督がわざと出場停止の選手を出場させようとするのではないのであれば、考えられることはうっかり出てしまうことだと思われます。そのため、自チームがしっかり把握していれば問題ないと思います。他のチームまで把握しようとするとややこしくなってしまうのではないのでしょうか。

7月になると日程が込み合いだして、金曜日に試合をやったのち日曜日にまた試合を行うということがおきます。ここで間違っって試合に出てしまうということが起きてしまうのではないのでしょうか。

(岩野先生)

では、従来通り自チームで管理するという事でよろしいのでしょうか。

(北原先生)

今まで通りのやり方を変えるのであれば、試合が終わった後に審判から警告、退場を示す書類を選手に渡し、それが溜まっていくというやり方もあります。

(岩野先生)

高体連のように警告退場確認証を作成して、各会場に置くことが一番いいです。警告者、退場者を確認して、主審と会場責任者のサインをいれるようにする。

(北原先生)

そうすると会場を貸しているだけになってはいけません。DUO リーグ版警告退場確認証を作成し、より丁寧におこなうのであれば、会場責任者だけでなく主審と副審のサインをもらうようにすればいいと思います。

(山中先生)

自チームの警告退場が出れば、自チームが必ず分かるはずですので、自チームに出場停止の選手が出た場合はメーリングリストにて全チームに連絡するという決まりにするのはどうでしょうか？

(岩野先生)

本郷高校の場合 T リーグと DUO リーグ共に参加しているので、一体誰がどちらで出場停止になっているか分からなくなってしまうことがあります。「うっかり」をなくするためには北原先生のやり方は明確だと思います。

()

警告退場確認証が出来るのであればそれが一番いいですが、大会期間が長いのでそれをなくしてしまうとどうするのか、という問題もあります。また会場に持って来ないということもあります。どの方法をとっても何かしらの問題が起きてしまいます。

(岩野先生)

リーグ始めまでに提案ということでもいいですか。今決定した方がいいですか。

(規律部)

警告退場確認証を作ることに對して、異論がある方はいますか。(会場からは異論なし)では確認証を必ず試合に携帯し、本部にメンバー表と共に提出するという形をとるということでもよろしいでしょうか。それぞれに自チームの出場停止者を把握するように努めるようにしよう。全チームで出場停止者を把握するならば、メーリングリストで流すこともよいかと思います。ただ、来年度は試験的に警告退場確認書を携帯することにして、フォーマット等についてはまたメーリングリストにて連絡いたします。

(岩野先生)

それでは、今年は試験的に高体連のものを参考にしながら警告退場確認証を用いた形をとります。

(規律部)

退場者が出た場合は、これまで通り当日に規律部まで連絡してください。

(岩野先生)

退場だけは翌日ではなく当日に連絡してください。

- ・ 各部門の担当について

(岩野先生)

DUO リーグの組織図を毎年確認をしています。その中で、チェアマンが交代しました。また、2015 年度は各部門の任期が切れて組織を再編する必要があります。本来ならば、もっと早いうちに各部門の依頼をしていなければいけないのですが、まだその動きがとれずどの部門も決まっていません。3 月中にお願いに回りますので、皆様ご協力をお願いします。任期は 2 年になります。今後は輪番制を伴った仕事の分担ができないかという声が数人から出ております。例えば審判部は高体連の審判部の先生でないと審判講習会が実施出来ないと思われていましたが、そのようなことはなく実施可能のため、どのクラブにもお願いすることがあるかと思えます。

組織の編成に向けて、現在まったく動けておらず申し訳ありません。早急に対応致します。

- ・ 事業の充実について

(岩野先生)

あまり活動していない地域活動推進部や他にも名前だけで年間通して仕事のない部門もあります。このような部門を縮小、整理をしてより仕事の多い部署に人員を割いたり、各事業を充実させていったりする必要があります。先ほどの加盟費の話にも絡みますが、事業の充実として例えば宮川先生から幾つか案を提案していただいています。ひとつは生徒対象の指導者講習会、キッズリーダー講習会です。生徒対象というのは今までになかった取り組みでありますし、将来指導者を目指している子ども達には良い機会になるかと思えます。もうひとつは D 級の講習会であれば実施することが出来るということです。

また審判部の近田先生からの提案ですが、T リーグと同じようにリーグ主催の審判講習会に参加した生徒が審判を行うという案があります。T リーグでは、協会ではなく T リーグ主催の審判講習会の参加した有資格者の生徒が副審を担当しています。DUO リーグでは、資格のない怪我をしている生徒や無理やりやらされてしまっている生徒が副審をやっている

ということが現状です。重要なゲームに緊張感のない審判が捌くということとはよくないので、今後は T リーグと同じように審判講習会を開き、将来的には講習会参加者で審判を担当するという流れにもっていきたい。また、講習会に参加しなくとも、有資格者が担当できるようになればよいと思います。近田先生の案は素晴らしいので今後実施できるようにしていきたい。

広報部のパンフレットの注文数が凄く少なかったです。各クラブに無料配布分 5 部はお渡ししていますが、今後は紙媒体ではなく PDF ファイルでダウンロードするなどの電子化を図ることも可能かと思いま

す。来年度は引き続き紙媒体で配布する予定ですので、新しい担当の方は期日を決めてプログラムの原稿などの作成にあたってください。

・2015年度 DUO リーグについて

(岩野先生)

2014年度の DUO リーグアンケートの結果を集計しました。

・3部制への移行案について

(岩野先生)

アンケートにもあった通り、3部制もしくは1部1ブロック制を推奨する声があります。1部1ブロック制には異論はないかと思われませんが、2部はそのまま現状維持でいいのではないかという意見もあります。3部制ではなく、2部制ならば単年で1部に昇格することが出来るのがよいと思っていましたが、宮坂先生から、3部から2部に上がるにしても2部から1部に上がるにしても、前年度の先輩の成績を引き継いで次年度戦うことに変わりがないのではないかとする意見がありました。また、DUO リーグの理念にもあるように「補欠ゼロ、強いチームとたくましい個の育成」、「同程度の相手と切磋琢磨出来る」というものがあります。1部を1ブロックにすることで2部のチームが増え、その中で果たして同程度の相手と切磋琢磨出来るのか、レベルやニーズにあった活動が出来ているかと考えると少し無理があります。そこで3部を新設し、10点差20点差がつく試合が起こらないようにし、誰もがモチベーションをもって試合に臨めるようにすることができるのではないかと考えます。それぞれのレベルにあったリーグ戦を行うためには3部新設は自然な流れなのではないかと考えます。

そこで理事会案として、1部10チーム、2部8チーム2ブロック、3部8チーム2ブロックで2016年度を行うことを考えております。新たに3部制を導入するため、2年3年かけて移行期間を設けてもひずみが生じるため、1年後の2016年度に思い切ってこの形に移行しようと思います。2015年度は今まで通りの1部8チーム2ブロック、2部9チーム3ブロックで行います。この理事会案に意見のある方はおられますか。(会場からは意見なし)

・2015年度の昇格降格のレギュレーションについての議論

(岩野先生)

2015年度は2016年度に3部制移行がある前提でリーグ戦を戦っていただきたいです。現在1部が16チームですが、再来年度には1部が10チームになるので6チームは2部に落ちないといけなくなります。加えて、2部からの昇格2チームの入れ替えがあり、地区トップの順位によってはDUOリーグに落ちて来るチームも出てきます。つまり来年度1部を戦う16チーム中8チームが再来年度には2部に落ちることになります。もしも、DUOリーグから1チームが地区トップにあがり、地区トップからどこも落ちてこない場合は7チームが降格になりますが、基本的には来年度1部を戦うチームのうち半分は2部に落ちると想定して戦って欲しいです。

TリーグでT4リーグが出来た時は、2部から1部に上がるチームを出しませんでした。この方法をとる

と、DUO リーグでは 1 部 16 チームのうち 6 チームが降格しますが、2 部から昇格するチームはありません。この方法は乱暴ですので、この問題を解決するために入れ替え戦を行うという案もあります。しかし、入れ替え戦を行うとなると地区トップの結果を待ってから 12 月にしか行えなくなります。前期リーグの入れ替え戦を 12 月に行うというのは非現実であります。DUO リーグでは入れ替えは活発であった方がよいと思いますので、自動昇格、自動降格しか考えられません。

問題として、1 部にいるより 2 部にいる方が再来年度 1 部で戦うチャンスがあるとも考えられることです。2 部で優勝したうちの 2 チームには 1 部で戦うチャンスがあり、1 部には半分のチームが降格してしまうという大きなひずみが生じてしまいます。しかし、血を流すなら 1 度にといいことで、2016 年度は一気に持っていこうと思います。

(遠藤先生)

いびつな年度になるということを皆さんが承諾してくればそれが一番良いです。1 年かけて 16 チームを 10 チームに減らすということがあってもよいと考えます。2 部と 3 部の構成や昇降格の数も検討しないといけません。つまり 3 ブロックのうち 2 チーム上がるということから少し変わってくるかもしれません。2 チーム自動昇格というというのは妥当な線であると思いますが、来年度に関して言えば岩野先生の言うように少し 2 部に有利な条件になっているように思います。あくまで個人的な意見ですが、2016 年度は変則 12 チームにするなどの方法をとってもよいと考えます。

(岩野先生)

アンケートにも 1 部 12 チームという意見もありました。しかし、12 チームにすると 11 試合を戦うことになり、9 月や 10 月までリーグ戦を行うこととなります。この時期ではチームによっては都大会に残っていることもあります。T リーグのようにほとんどのチームが都大会に残りチームが変わらない場合は別ですが、DUO リーグでは代替わりをする 8 月までにリーグを終わらせるべきだと思います。11 試合を 8 月までに終わらないので変則的に通年 10 月までリーグ戦を行うというのは地区リーグではなくなってしまうと思います。12 チームにするとたった 2 試合増えるだけのようには思いますが、その 2 試合は大きいと個人的には思いますね。

(遠藤先生)

11 試合を 8 月までに消化するためには開幕を前倒しにするしかないです。3 月や 2 月に試合を行うということですが。

(岩野先生)

T リーグは 2 月にも試合を行っていますが、これもいびつなように感じます。年間を通して考えると 1 月から 3 月まではチームをイチから作る時期です。そのため高体連の試合も開催されません。1 月から 3 月にチームを作り 3 月下旬ないし 4 月からリーグ戦を始めるというカレンダーは崩さない方がいいと思います。

(宮坂先生)

個人的には3月中旬ぐらいからスタート出来ればいいのではないかと思います。3月の下旬には実際にリーグ戦をやっています。2月スタートは現実的ではないですし、3学期がチームを作る時期ということにも賛成です。もしも、再来年度12チームでやるのならば考えればいいと思います。

(岩野先生)

3月中旬は2期制でも3期制でも学年末になります。学年末開けにリーグを始めてもいいのでしょうか。参加費の金額についても疑問が生じます。今年度、本郷高校は3チームが参加しており、うち2チームが2部で戦いました。1部は7試合保証されていましたが、2部のチームは5試合しか出来ませんでした。もし1部を12チームにして2部と試合数が増えた場合、すべてのチームの参加費が同額とられてしまうことは少し気になることです。参加費を変えれば問題はないのかもしれませんが、私がそこまで頭を回して来年度中にもっていけるかどうか不安ではあります。

12チームにしても、皆さんから参加費は一律で構わないとの了承がいただけるのであれば検討します。1部10チームと2部8チーム2ブロックになると、1部はリーグ戦9試合のみに対して、2部はリーグ戦7試合プラス順位決定戦を行うこととなります。順位決定戦をホームアンドアウェイにすれば試合数を同じにすることは出来ます。ホームアンドアウェイにしなくても1部とは1試合しか変わらないので、この場合は全チーム一律にしても問題ないと考えます。

このような点を踏まえまして、1部を12チームにすることについて何か意見はありますか。

(遠藤先生)

今は1部1ブロックと3部新設について詳細をこの場で決めるための議論を行っているのですか。

(岩野先生)

詳細を決めずに、2015年度を戦うことに問題はないでしょうか。

(岩野先生)

降格ラインの順位はかなりシビアになってくると思います。地区トップの結果にも左右されますが、6チームが落ちても8チームが落ちても絶対的な残留安全圏は変わらないと思います。そこがリーグ始めに決まっていないまま戦うのはあまり良くないと思います。

(遠藤先生)

3部を作るかどうかこの場で決めるのですか。理事会案は3部新設ということでもいいですか。

(岩野先生)

はい、そうです。理事会案で進めてもよいでしょうか。理事会案を進めますと、原則16チーム中8チ

ームが降格します。(会場から異論なし)

・ 2015年度のリーグ組み合わせについて

(岩野先生)

メーリングリストから流したのから変更があります。メーリングリストで流れたものと UO リーグに筑波大付属高校が入っていましたが、チーム事情により淑徳巣鴨 A と交代になりました。今年度の筑波大付属高校の順位の場所にそのまま淑徳巣鴨高校を当てると配布資料のような組み合わせになります。淑徳巣鴨 A が 1 部昇格となりました経緯は、日大豊山 B と淑徳巣鴨 A が昇格プレーオフを戦ったことから、2 部残留が決まっていたチームの中で最も 1 部昇格に近かったチームということで今回交代となりました。淑徳巣鴨 A の 1 部昇格を皆さん承認していただけますか。(会場から異論なし)

しかし、筑波大付属の順位にそのまま淑徳巣鴨 A を入れることはチームの力関係を考えますと正しくありません。淑徳巣鴨 A は 1 部の一番下の順位になりますので 1 部のリーグ組み合わせがメーリングリストのものから大きく変わります。

リーグの組み合わせは 1 位が DU リーグ、2 位が UO リーグ、3 位が UO リーグ、4 位が DU リーグといった順に機械的に振り分けており、グラウンドを各チームが持っているかどうかについては考えておりません。

2 部の組み合わせも基本的には 1 部と同じ方法をとりましたが、この方法で同クラブから出場しているチームが同じブロックに入らないように微調整を行いました。2 部のグラウンド持ちチームは配布資料で黄色になっているものですが、こちらについては上手くばらけたので調整はしていません。リーグの組み合わせについては問題ないでしょうか。(会場からは異論なし)

では、この組み合わせで 2015 年度のリーグ戦は行うこととします。2 部は 9 チームとなり全試合を消化することは少し大変ですが、春休み中に試合を消化するなどして上手く調整してください。配布資料の組み合わせのようにリーグ戦を行わなければならないということはありません。

・ FC 西巣鴨 03 の扱いについて

(岩野先生)

2014 年度 2 部リーグで G 本郷が全勝優勝しました。この時 G 本郷と同ブロックの他チームが昇格できないということでモチベーションの低下が懸念されました。今回高校以外のチームである FC 西巣鴨 03 が優勝すると他リーグの優勝チームは自動的に昇格が決定してしまうことはよろしくありません。そこで、大人のチームが優勝したリーグの 2 位のチームがプレーオフに進出しますというルールが適応された試合が日大豊山 B と淑徳巣鴨 A の試合になります。詳しく説明しますと、2 部を優勝した本郷 θ、日大豊山 B、G 本郷でチャンピオンシップを行い、ここで日大豊山 B が 3 位になりましたので、G 本郷のいたブロックの 2 位である淑徳巣鴨 A とプレーオフを行いました。

このような事例をうけて、FC 西巣鴨 03 はリーグ戦では試合は行うが順位を決めないという形をとります。ただし、FC 西巣鴨 03 戦で得点をした場合、得点王のからみがありますので FC 西巣鴨所属の得点者も含めてカウントすることとします。よろしいでしょうか。

・ その他報告事項

(岩野先生)

メーリングリストについてはメール題にリーグ名を明記することを協力お願いします。

今まで DUO リーグでは会計監査を置かずに活動を続けてきました。そのため、非常に高額の繰越金があります。繰越金の使い道や今後の集めた資金の使い道が適切であるかどうか監査する会計監査を置くことを検討しています。岸事務局長に聞いたところ、今まで領収書の管理をしていた経験から監査自体はそこまで繁雑にはならないと聞いています。そこで 2015 年度は会計監査をお願いすることになります。会計監査の依頼は後日行います。

・ DUO リーグについての確認事項

(岩野先生)

DUO リーグ実施要綱に参加費の振込先は書かれております。チーム数×20,000 円を振り込んでください。プログラム代はまだ広報部が決まっていませんので、400 円になるのかどうかは分かりません。決まり次第メーリングリストにて連絡をお願いします。また、実施要綱から 2 重線で加盟費に関する記述は消しました。

参加資格および登録手続きについては実施要綱を確認しておいてください。交代や 19 歳以上の出場について DUO リーグ特有のルールがありますので確認をお願いします。

・ 質疑応答

・ 2015 年度昇格降格のレギュレーションについての確認

(松本先生)

2015 年度から 2016 年度へリーグ編成が変わる規定を再度確認させてください。昇降格の規定の再度説明をお願いします。

(岩野先生)

2016 年度には、2 部から 2 チームが 1 部へ昇格します。1 部から降格するチームは地区トップの結果次第では流動的です。ただし、DUO リーグと地区トップでのチームの入れ替えが同じである場合、8 チームが降格します。そして残留した 8 チームに 2 部から昇格した 2 チームを加えた計 10 チームで 2016 年度 1 部リーグを戦うことになります。

(松本先生)

地区トップから落ちて来るチームが多い場合はどうなりますか。

(岩野先生)

DUO リーグから優勝チーム 1 チームが地区トップに昇格します。仮に地区トップから 2 チームが落ち

て来ると DUO リーグ 1 部から 9 チームが 2 部に落ちることになります。DUO リーグから地区トップには 1 チームしか昇格しないので、地区トップから 2 チーム以上落ちて来るとなるとその分はじき出されることとなります。

(松本先生)

2 部からの 2 チーム昇格は決定ですか。

(岩野先生)

はい、決定です。2 部からは必ず 2 チームが昇格します。1 部から降格するチーム数のみ流動的になります。

・ 交代に関する規定について

(松本先生)

選手交代自由というルールは 1 部も同じですか。1 度交代した選手も再度出場は可能ですか。

(岩野先生)

1 部であっても DUO リーグでは交代自由のルールが適応されます。誰もがリーグに参加できるという理念があります。

(小金丸先生)

1 部は地区トップに直結するので、自由交代ではなかったのではないですか。

(岩野先生)

昨年度の会議の場で、DUO リーグは選手を育てるリーグであるので交代枠を決めることはしないでこうと決まりました。DUO リーグは 1 部 2 部ともに自由な交代は認められています。

(小金丸先生)

何度も同じ選手を出し入れすることは可能なのですか。

(中塚先生)

そこまで細かく決めていませんでした。書類の上では自由な交代と書かれています。この場でどの解釈か同意すればいいのではないのでしょうか。

(岩野先生)

地区トップには 2 部も繋がっている、プレミアから DUO リーグまで繋がっていると考えると 1 部と 2 部も区別はないと思います。DUO リーグの理念も重要です。ベンチに戻した選手に指示を出し、翌週の試合ではなくその場の試合でその選手を起用できることは DUO リーグの魅力のひとつです。

(松本先生)

交代方法の議論を求めているのではなく、見解を示していただければと思います。

(岩野先生)

交代のルールが徹底されなかったみたいですが、来年度は1部2部とも選手の出し入れは可能で行います。

- ・ リーグ戦の期間内消化について

(松本先生)

リーグ規定には、順位決定戦も含めて8月末までに行うということは決定ですか。

(岩野先生)

特に2部は9チームもあり、大変だと思いますが春休み中を上手く使いながら7月末に順位を決定し、8月中に順位決定戦を行う形をとってください。7月中に行えなかった試合については未消化試合とします。8月に入っても順位が決まっていないと順位決定戦を行えなくなってしまいます。

(松本先生)

今年度は行われなかった試合も幾つかあったと思います。来年度は予定通り行えなかった試合について柔軟に対応することはないのですか。7月を過ぎても試合を行えるのか、それとも一切行えないとするのか、本年度の事例はどのように反映されますか。

(岩野先生)

7月末に大原則リーグ戦は終わらせるようにしてください。雨などもあり厳しいかもしれませんが、終わらなかった場合はやはり未消化としてください。その後に当該チームで試合が行えたとしても、練習試合とし、DUOリーグから審判費、会場費は出ないということを理解していただければと思います。

(豊島学園)

豊島学園は今年度1部リーグの順位決定戦を行えませんでした。雨などもあり日程調整がかなり厳しかったです。来年度、高体連の関東大会も入ってきてこなせない場合が多くなるかと思います。2016年度はリーグ編成が大きく変わり、順位決定戦をかなりシビアにやらなくてはいけないので、日程調整はかなり心配ではあります。後期リーグとの絡みも出てきますが、少し日程をずらすなど丁寧に行った方がよいのではないのでしょうか。

(岩野先生)

9月に入ると例えば、選手権に敗退してしまったチームと選手権をまだ勝ち上がっているチームでは完

成度にかなり差が出てきてしまいます。DUO リーグの試合がプリンスリーグなどとの違いで、3年生の引退がからむ8月末のラインというのはかなり重要になってきます。選手権負けていても、DUO リーグの順位決定戦まではやるというクラブと、8月中で代替わりをしてしまうクラブはそれぞれの考え方だと思いますが、3年生を9月中まで引っ張るということは現実的ではないです。そのため、7月中にリーグ戦を終わらせ、8月末に順位決定戦を終わらせることを目指して欲しいです。

(小金丸先生)

全クラブ7月中に頑張って全試合を消化するように頑張るとは思います。しかし、どうしてもという場合が出て来るとは思います。本当に雨などの場合でどうしても行えなかった時のグレーゾーンを設けるということはどうでしょうか。

(岩野先生)

グレーゾーンはあるけれど、順位決定は8月末までに行うということは了承していただけますか。7月中にリーグ戦は終わらなかつたけれど、8月末までには順位は決定させるということです。

(中塚先生)

どこかで期限を決めて切らないとリーグ順位が決まりません。リーグ順位が決まらなかつた場合、順位決定戦やプレーオフなどの日程が組めなくなります。そのため日程調整が大変なのは承知で今まではリーグ戦の最終期限を決めていました。そこで原案にあるように7月末までに順位を確定し、8月末日までに順位決定戦を行うようにしていました。

()

一応期限は決めているのですが、事情がある場合は僕のところに連絡をいただいて対応はしていました。例えばグループリーグの中で終盤の上位同士の試合がもし流れてしまい未消化になってしまったらかわいそうです。また、DU リーグ1位とUO リーグ1位のどちらか1チームを決めなければいけないながら、8月中に行えなかつた場合にどうするか考えなければいけないです。この期限で最大限努力するという大前提のもと、1週間から2週間の猶予を持たせることはあってもよいのではないですか。

(松本先生)

猶予の期間はあるべきであつて、期限を過ぎればどんな場合でも認めないとするのはよくないと思います。他の地区では期限内に追われなかつた場合は勝ち点は0点ということもあり、これはよくないです。どうしようもない事情ということは起こりうるので、その場合には延期して行うことは必要だと考えます。消化していない試合が残っているということはリーグ戦として残念であるし、練習試合になってしまうのはどうかと思つてしまいます。今年度残つてしまった試合は仕方ないですが、来年度は全日程消化しきる方がよいと思います。

(小金丸先生)

例えば7月25日から31日までの間の試合がチームの事情ではなく天候によって延期になった場合には、延期を認める、という案はどうでしょうか。

(岩野先生)

天候の不順は仕方がないので対応はしたいです。しかし、後ろに猶予があるからといって最初からそれを当てにした日程は組まないでいただきたいです。最初から組んでいたところが流れてしまった時は、試合を消化することを優先した方がいいかと思います。

(小金丸先生)

6月に流れた試合を組まないで8月にやるということはおかしいです。そこで先ほど提案したように7月25日から31日までの間で延期した分については8月実施を認めるという形はどうでしょう。

(岩野先生)

では、7月25日から31日までの6日間で延期した試合については相談してください。基本的には大会規定に書いてある通り、7月末までにリーグ戦を終わらせるようにしてください。5月6月に雨で流れた試合を7月25日以前に組まず、8月に行うことは認めません。

(この後各リーグ日程調整会議にうつる)

※音声通りではなく、可能な限り読みやすいものに訂正を加えています。